

研究・イノベーション学会国際問題分科会
2025年度4月例会（2025年4月16日）

ポスト「12・3」の韓国を読み解く 『比較のなかの韓国政治』補論



浅羽祐樹

同志社大学

1. 『比較のなかの韓国政治』

- 尹錫悦大統領の「非常戒厳」宣布の3日後に刊行
- 「「取扱説明書」「注釈書」「判例集」からみる韓国政治」という視点を提示
- 憲法典／憲法体制(＝基幹的政治制度)
- アクターの行動⇔制度のアンサンブル
- 制度的均衡(institutional equilibrium)と均衡制度(equilibrium institutions)
- 地域の全体像を「衡平に／釣り合いよく(proportionally)」示す「地域研究(Area Studies/Korean Studies)」
- ルールを破り、別のゲームを勝手に始めるプレイヤーの登場により、直ちにrobustness checkを受ける

1. 『比較のなかの韓国政治』

- 序章 「取扱説明書」「注釈書」「判例集」からみる韓国政治
- 第1章 韓国憲政史における憲法改正／憲法体制の変化
- 第2章 「帝王的」大統領制？ 韓国大統領はどのくらい強いのか
- 第3章 議会制度——「通法府」か、アリーナか
- 第4章 選挙制度——「選び方」の「決め方」
- 第5章 地域主義から階級対立へ？——変容する政党システム
- 第6章 2つの司法——大法院と憲法裁判所
- 第7章 ソウル共和国——中央・地方間関係と地方政治
- 第8章 メディアと感情的分極化
- 第9章 反復される「ろうそく集会」——投票外政治参加と代議制民主主義
- 第10章 女性のいない民主主義——「イデナム」と「イデニョ」
- 第11章 第三極の模索——階級政治の「現住所」
- 第12章 外交安保政策・南北朝鮮関係と執政中枢
- 第13章 韓国国民／韓民族のリミット
- 第14章 「1987年体制」か、「1997年体制」か——「政治経済」という視点
- 第15章 韓国という「国のかたち」のゆくえ



2. 非常戒厳とは何なのか

3. 弾劾審判と憲法裁判所

4. 第21代大統領（選挙）を展望する

5. 地域研究と比較政治学の間

- 「地域研究の使命と醍醐味は…地域固有の「現地語」と、アカデミアの「普遍語」、さらには一般読者の「日常語」のあいだで「翻訳・通訳」を務めること」（「あとがき」p.327）
- 「ことばは私たちをつなぐ糸」（ハン・ガン著／斎藤真理子訳「[光と糸](#)」ノーベル文学賞受賞記念講演）
- 同時に、ことばは「人の間」を友／敵に峻別する機制でもある（[シュミット 2022](#)）；「反国家勢力を一挙に剔抉」「違反者は処断する」
- 「正当な物理的暴力行使の独占を要求する人間共同体」（[ヴェーバー 2020](#)）など「現代の古典（contemporary classics）」を再読する

5. 地域研究と比較政治学の間

- Why Korea? : 韓国という事例から政治学というディシプリンにいか
に貢献するか
- 分析の簡潔さ (parsimoniousness) とコンテキスト、一般的傾向と
固有性
- 韓国の全体像を「衡平に／釣り合いよく (proportionally)」示す
- 政治学×憲法学×社会学× α のコラボレーション、シナジー
- 事態が進行しているなかでも広くパブリックに向けて発信する

5. 地域研究と比較政治学の間

- 「2024年、韓国」の「いま、ここ」に刻まれている歴史の諸断層
- 「過去が現在を助けることはできるか？ 死者が生者を救うことはできるのか？」というハン・ガンの問い
- 「人間の残酷さと尊厳が極限のかたちで同時に存在した時空を「光州」と呼ぶとき、光州はもはや一つの都市を指し示す固有名詞ではなく普通名詞になる」
- 「5・18」（1980年）という記憶（ハン・ガン『[少年が来る](#)』）
- 「箍が外れている（Time is out of joint）」（シェークスピア「ハムレット」）という感覚

5. 地域研究と比較政治学の間

- ポスト「12・3」の韓国
- 異なる制度、異なる歴史、異なる時間観念（カイロスの時間）を有する韓国の人たちの歩みや「葛藤」をいかに理解するか
- 「日韓」歴史認識問題（木村 [2014](#);[2020](#)）のリミットを外す
- 『韓国民主主義は生き延びるか』と『韓国政治史』の2冊を執筆中

参考文献

- 拙稿「韓国憲政史における「12・3戒厳」」『外交』[Vol.89](#)
(Jan./Feb. 2025)
- 拙稿「ポスト「12・3」の韓国—禁じ手「戒厳」で露呈した現行憲法体制の限界」『中央公論』[2025年4月号](#)
- 「浅羽祐樹インタビュー（聞き手＝岡山義信）＜「12・3」が韓国にもたらしたもの＞」『比較のなかの韓国政治』『韓国とつながる』（有斐閣）刊行を機に」『週刊読書人』[2025年1月31日号](#)
- 浅羽祐樹・米村耕一・金成玟「激動韓国 2024-25」国際政治ch [190](#)（2025年4月5日）